

I F Cファイルの生成

- ・ K A Pシステムから出力された実寸法師用の3 Dファイルから I F Cファイルを生成します。

K A Pシステムが持つ重量, 面積, 塗装仕様等あらゆる属性情報にも対応予定にしています。

他B I Mソフトから出力された I F Cから実寸法師を經由してK A Pシステムへの変換についても今後開発予定です。

エクスポートできる3 Dファイル

- ・ 3 D-D X F (色別の可否ゾーン付)
- ・ 清水躯体連動中間ファイル
- ・ S t - B r i d g e ・ S D N F
- ・ R E V I Tとの連携ファイル
- ・ V R M L ・ X 3 D
- ・ S T L (3 Dプリンタ)
- ・ 実寸法師を介した I F C
- ・ G o o g l e e a r t h (K M Z)

★データ連携★

上流の構造設計データでは、清水建設の ST-CAD、ユニオンシステムの SS3 (CSV) や SDNF・大林組仕様の CSV が取り込み可能です。

ST-Bridge や REVIT に関しては入出力が可能です。また、横森製作所から出力された階段の3 D-DXF を KAP システムに取り込みモデルを合成することで、階段受梁等の納まりチェックを早期に行う事ができます。また設備系 CAD との連携では、ダイテックの Tfas、NYK システムズの Rebro、シスプロの S-Cad、四電工の Cadewa から出力されたスリーブ配置データを一括で KAP システムのスリーブデータに変換することができます。下流システムとの連携では、汎用 CAD として圧倒的なシェアを占めるタイワの実寸法師とネットワークを介した双方向通信により、スリーブ等2次部材の図形や寸法その他アクセサリの情報連携を可能とした。